

古田新支配体制米砕
アミア安保米砕
日帝戦争貫徹
学生戦線を立直し再度の
斗争の高揚を
12.8集会に結集せよ!

戦機

日大生共闘
理互南争委員会
材械科南争委員会
書記局
No. 18

現在レポート宿題におひまくられ 全2を忘れかけ考えなくなった学友諸君!!

我々は佐藤訪米阻止闘争に断固蒲田駅現地で学友の結集をもって深夜まで闘いを貫徹した。蒲田駅への学友の結集は暴動キャンペーン、圧倒的な機動隊にもかかわらずこれまでの斗争より多かった。今後の日大斗争をになう材械科として新たなる希望を見出した。

我々が11.15~17ストライキを学校側のロックアウトにより効果は少なかったけれどももう一度学友諸君はその意義を考えしてほしい。

現在我々の日大を見るならば官憲と右翼との圧殺の中において表面的には正常化されているけれども新古田支配体制; 鉄板・集会デモ・ハッ紙等々の禁止令; ロックアウト等々日大の諸矛盾は以前として存在しているばかりでなく拡大さえしている。

全2の学友諸君! 我々が過去の日大斗争を闘ったのは何のためなのか? 考えしてほしい!

そして我々が現在をさななければならぬことは何なのか? それは我々の学生権力の確立をすることであり、一各館を一定程度我々の力で集約し解放することでありその内容はクラスストライキ、学内デモ集会、ピラ、ステッカーはりである。そしてまた我々が過去の闘争において痛切に感じてきた政治アレルギ-の解消でありより痛度の斗争により我々のイデオロギ-をより高揚させることである。

そのような原則活動をつづける中において日大に新たなる斗争の火をくわなければならない。現在68年日大斗争を切開き69年の大激闘を切り開いた秋田日大はじめ法学部にたまたもった学友、令状逮捕された学友が一年近くの獄中斗争を貫徹した学友が次々と我々の戦線に戻り再びその先頭に立ちあがろうとしている。我々はそのような学友とともに再度の斗争の高揚をすべく学内における活動学外における活動を押し進めよう!!

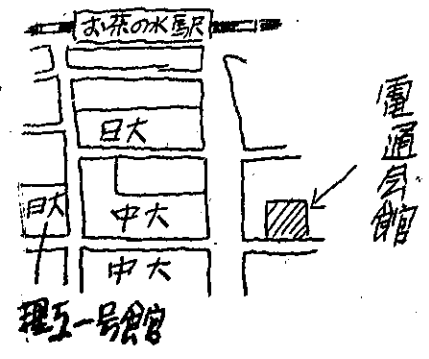
12.8反戦と反権力のための集い

11.15日大庶民デモ 不当弾圧抗議集会

映画: 砂川反戦聖壕行動隊
(立川基地撤去の闘い)
: 市大病院の臨終(大阪市大の闘い)

講演: 中島 誠

時: 午後6時(開場5時半)
所: 電通会館 参加費 200円



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12